

桶川市健康づくり推進計画・食育推進計画 健康えがお桶川プラン（中間評価）

I 桶川市健康づくり推進計画の概要

1 桶川市健康づくり推進計画・食育推進計画について

本市は、桶川市健康づくり市民会議と協働で、健康づくりを進めている中で、市民の更なる健康寿命の延伸をめざし、国の健康増進や食育推進、歯科口腔保健の推進に基づき、平成26年3月、桶川市健康づくり推進計画・食育推進計画『健康えがお桶川プラン』を策定しました。

子どもから高齢者まで、すべての市民が元気に笑顔で暮らせるよう、市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むとともに、地域の関連団体・関係機関・行政などが協働し、市全体で健康づくりと食育を推進していくために策定した健康づくりに関する計画です。

2 計画の位置づけ

本計画の「健康づくり推進計画」は、健康増進法第8条第2項に規定する市町村健康増進計画に位置づけ、国の「健康日本21（第2次）」県の「健康埼玉21」「健康長寿計画」の主旨を踏まえ策定されました。

また「食育推進計画」は、食育基本法第18条及び県食育推進基本計画に基づく、市町村の食育推進計画として、健康づくり推進計画と整合性を図り策定されました。

本計画は、桶川市第五次総合振興計画を上位計画とするとともに、関連諸計画（第六次桶川市高齢者福祉計画・第五次桶川市介護保険事業計画、第3次障害者計画・第3期桶川市生涯福祉計画、桶川市次世代育成支援行動計画、第二次桶川市特定健康診査等実施計画）との整合性を図っています。

II 中間評価について

1 中間評価の目的

計画期間は、平成26年度から平成35年度までの10年間です。

平成30年度は、中間年度に当たることから、施策の結果を振り返り、後半の各施策に反映させることを目的に中間評価を行いました。

2 中間評価の方法と判定区分について

各目標値の中間時点での達成状況については、各種統計データや事業の実施データを基に、策定時のベースライン値と現時点での直近値（現状値）を比較して評価を行いました。

計画に定めた数値目標は、5段階で評価を示しています。

判定区分	判定基準
◎	目標値を達成している
○	目標値を達成していないが、策定時より改善している →達成率50%以上
△	策定時より改善傾向及び横ばい状況にある →達成率49%~0%
×	策定時より悪化している
—	判定できない

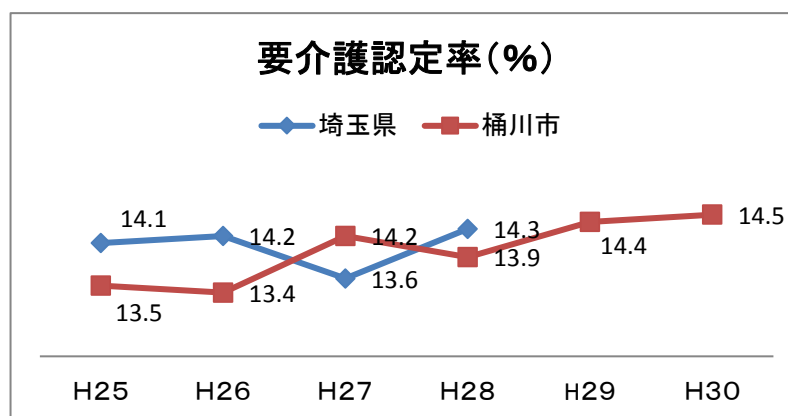
Ⅲ 分野別の状況と取り組み

『 1 桶川市民の身体状況 』

【現状値と目標値】

分野	目標項目	ベースライン (年度)	現状値(年度)	短期(H30) 目標値	評価	数値	現状値の 根拠資料
健康寿命	男性	17.2歳 (H23)	17.9歳 (H28)	17.7歳	◎	1	埼玉県健康指標 総合ソフト
	女性	20.1歳 (H23)	20.6歳 (H28)	20.4歳	◎	1	
要介護認定者の割合	65歳以上	13.6% (H24.4)	14.5% (H30.4)	12.0%	×	1	業務統計
国民健康保険加入者 メタボリックシンドローム の人の割合	男性	25.6% (H24)	28.3% (H29)	23.5%	×	1	特定健康診査 法定報告(国)
	女性	10.6% (H24)	9.9% (H29)	10.0%	◎	1	

＜参考：埼玉県と桶川市の要介護認定者の割合＞



【これまでの取り組み】

- ・介護予防の知識を普及するために、介護予防教室を実施しています。
- ・運動機能が低下している人には、運動機能向上の介護予防事業を実施しています。
- ・広報おけがわや市ホームページ、春のふれあいフェスタなどで、生活習慣病予防やがん検診の受診を啓発しています。
- ・特定保健指導など生活習慣を見直す機会を作り、利用を勧めています。

【中間評価】

健康寿命は、男性が17.9歳、女性が20.6歳でした。ベースライン値に比べて男性は0.7歳、女性は0.5歳上延びています。要介護認定者の割合は、14.5%で、0.9ポイント増加しています。国民健康保険加入者メタボリックシンドロームの人の割合は男性が28.3%、女性が9.9%でした。男性は2.7ポイント増加していますが、女性は0.7ポイント減少しています。

要介護認定者については、全体的には増加しておりますが、平成27年を除いて、埼玉県を下回る値で推移しています。

高齢化が進む中で、健康寿命が延びる一方、要介護認定者の割合も増加しています。引き続き介護予防事業などを継続し、要介護認定者の増加率を抑制するように努めます。

『 2 栄養・食生活・食育 』

【現状値と目標値】

分野	目標項目		ベースライン (年度)	現状値(年度)	短期(H30) 目標値	評価	現状値の 根拠資料
栄養 ・ 食生活 ・ 食育	肥満の人の割合	中学生男子	9.5% (H25)	8.5% (H30)	9.0%	◎	学校保健統計
		中学生女子	6.4% (H25)	6.5% (H30)	6.0%	×	
栄養 ・ 食生活 ・ 食育	栄養不良の人の割合	中学生男子	7.8% (H25)	3.2% (H30)	7.5%	◎	学校保健統計
		中学生女子	11.4% (H25)	3.2% (H30)	11.0%	◎	
栄養 ・ 食生活 ・ 食育	朝食を毎日食べている 人の割合	小学生	93.4% (H25)	92.6% (H29)	98.0%	×	生活アンケート
		中学生	89.8% (H25)	81.6% (H29)	95.0%	×	全国学力・学習状況調査

【これまでの取り組み】

- ・公民館事業や食生活改善推進員協議会と協働で親子料理教室を開催し、バランスのとれた食事などの知識の普及や、子どもが食事づくりに関心を持てるよう支援しています。
- ・親子で気軽にウォーキングができるよう、桶川市健康づくり市民会議作成のウォーキングマップを普及し、夏休みにウォーキングを開催しています。
- ・学校や家庭でできるオケちゃん健康体操を普及し、体を動かす機会を増やしています。

【中間評価】

肥満の人の割合は、中学生男子は8.5%、中学生女子は6.5%でした。中学生男子は1.0ポイント減少しましたが、中学生女子は0.1ポイント上昇しています。

栄養不良の人の割合は、中学生男子は3.2%、中学生女子は3.2%でした。中学生男子は4.6ポイント、中学生女子は8.2ポイント減少しています。

朝食を毎日食べている人の割合は小学生は92.6%、中学生は81.6%でした。小学生は、0.8ポイント、中学生は8.2ポイント減少しています。

親子料理教室などの事業や学校の保健だよりで、バランスの取れた食事などの知識の普及や、朝食を食べることの大切さを伝えていきます。

『 3 身体活動・運動 』

【現状値と目標値】

分野	目標項目	ベースライン (年度)		現状値(年度)		短期(H30) 目標値	評価	現状値の 根拠資料
身体活動・運動	介護予防事業参加者数	2,145人	(H24)	7264人	(H29)	2,395人	◎	業務統計

【これまでの取り組み】

- ・地域包括支援センター主催の、介護予防教室を実施しています。また、教室修了者に対しては自主グループを図ると共に、サロンには専門職を派遣する等、積極的に支援を行っています。
- ・高齢者が、気軽に健康づくりに取り組むきっかけとして「健康長寿いきいきポイント事業」を実施しています。

【中間評価】

介護予防事業参加者数は、7264人で、ベースライン値の3.4倍に増加しています。介護予防教室は、市内4か所にある地域包括支援センター主催で、今後も実施回数を増やしていきます。

『 4 休養と心の健康 』

【現状と目標値】

分野	目標項目		ベースライン (年度)		現状値(年度)		短期(H30) 目標値	評価	現状値の 根拠資料
休養と心の健康	平日の就寝時間が22時以降である人の割合	小学生	10.7%	(H25)	17.0%	(H29)	10.0%	×	生活アンケート
	平日の就寝時間が24時以降である人の割合	中学生	32.0%	(H25)			28.0%	—	学校保健統計
	1日あたりのゲーム時間が2時間以上の人の割合 (パソコンやテレビゲーム)	小学生	26.7%	(H25)			23.0%	—	学校保健統計
		中学生	24.5%	(H25)			23.0%	—	学校保健統計

【これまでの取り組み】

- ・保護者に保健だよりの配布などで、ゲームやインターネットなどの適切な使用について、情報提供しています。

【中間評価】

平日の就寝時間が22時以降である人の割合は、小学生が17.0%で、6.3ポイント増加しています。この項目の中学生及び、1日あたりのゲーム時間が2時間以上の人の割合については、現在は調査項目に入っていないため、評価できませんでした。

メール・ゲーム・インターネットなどの適切な使用や、夜更かしをせず、十分な睡眠をとる大切さについて、引き続き保健だよりの配布等で情報提供をします。

『 5 歯と口腔の健康 』

【現状と目標値】

分野	目標項目	ベースライン (年度)	現状値(年度)	短期(H30) 目標値	評価	現状値の 根拠資料	
歯と口腔の健康	虫歯のない人の割合	3歳児	86.7% (H24)	92.0% (H29)	89.0%	◎	母子保健医療推進事業報告書
		小学生	87.3% (H25)	79.4% (H30)	89.0%	×	学校保健統計
		中学生	80.5% (H25)	85.8% (H30)	83.5%	◎	学校保健統計

【これまでの取り組み】

- ・ 歯科検診でむし歯などがあった場合は、保護者へ早めの治療を勧めています。また、家庭で歯と口腔の健康を守る意識を高めるために、保健だよりで学校全体のむし歯の保有状況や、治療状況、むし歯予防などを伝えています。

【中間評価】

虫歯のない人の割合は、3歳児が92.0%、小学生が79.4%、中学生が85.8%でした。3歳児は5.3ポイント、中学生は5.3ポイント上昇しましたが、小学生は7.9ポイント減少しています。

引き続き、給食後の歯みがきの勧奨や正しい磨き方の指導に取り組みます。また、イベント等で、かかりつけの歯科医を持ち、定期的に歯科検診を受けることの大切さを伝えるなど、歯と口腔の健康を守ることの普及啓発をしていきます。

『 6 自分の体を守る 』

【現状と目標値】

分野	目標項目	ベースライン (年度)	現状値(年度)	短期(H30) 目標値	評価	現状値の 根拠資料
自 分 の 体 を 守 る	4か月児健診受診率	96.2% (H24)	97.9% (H29)	97.0%	◎	業務集計
	1歳6か月児健診・歯科健診受診率	95.9% (H24)	98.0% (H29)	97.0%	◎	業務集計
	3歳3か月児健診・歯科健診受診率	93.5% (H24)	94.2% (H29)	95.0%	△	業務集計
	胃がん検診受診率	5.1% (H24)	7.8% (H29)	10.0%	○	業務集計
	大腸がん検診受診率	22.2% (H24)	31.5% (H29)	25.2%	◎	業務集計
	肺がん検診受診率	3.9% (H24)	7.2% (H29)	7.0%	◎	業務集計
	乳がん検診受診率	14.8% (H24)	21.9% (H29)	17.0%	◎	業務集計
	子宮がん検診受診率	13.3% (H24)	19.5% (H29)	16.0%	◎	業務集計
	国民健康保険加入者 特定健康診査受診率	45.5% (H24)	47.9% (H29)	60.0%	△	特定健康診査 法定報告(国)
	国民健康保険加入者 特定保健指導実施率	16.4% (H24)	10.4% (H29)	60.0%	×	特定健康診査 法定報告(国)
	高齢者インフルエンザ 予防接種接種率	65歳以上 43.2% (H24)	43.2% (H29)	60.0%	△	業務集計

【これまでの取り組み】

- ・広報おけがわや市ホームページ、個別通知、訪問事業により乳幼児健診に関する情報提供や受診勧奨に努め、子どもの健康管理を推進しています。
- ・市ホームページなどにより、がんやがん検診の知識普及を図り、女性には、子宮がん検診の受診と、乳がんの自己検診を勧めています。
- ・春のふれあいフェスタで、40歳になったら特定健康診査・がん検診を受けること等を啓発しています。
- ・特定保健指導などの、生活習慣を見直し改善する機会を作り、利用を勧めています。
- ・感染症予防のため、広報おけがわや市ホームページで、高齢者インフルエンザの予防接種を勧めています。

【中間評価】

乳幼児健診の受診率は、4か月児健診が97.9%・1歳6か月児健診が98.0%・3歳3か月児健診が94.2%でした。3歳3か月児健診の受診率は目標値に達成しませんでした。いずれの健診も受診率は向上しています。引き続き、乳幼児健診未受診児には、個別通知や訪問などで、健診受診を勧めていきます。

がん検診受診率は、大腸、肺、乳、および子宮がん検診で目標値に達していました。胃がん検診は目標値には達成しませんでした。引き続き、がん検診の知識普及や受診の啓発をしていきます。

国民健康保険加入者の特定健康診査受診率は47.9%、特定保健指導実施率は10.4%でした。特定保健指導実施率はベース値から大きく低下しています。実施率を上げるための啓発などを、積極的に行う必要があります。

高齢者インフルエンザ予防接種率は43.2%で、横ばいでした。ワクチンを接種することで、インフルエンザの重症化の予防効果が認められています。受診率の向上に向けて、広報おけがわや市ホームページなどで、さらなる啓発を行います。

IV まとめ

今回の中間評価では、短期目標値を設定した30項目について、達成した指標が15(50.0%)、目標値を達成していないが、策定時より改善している・策定時より改善傾向及び横ばい状況にあるが4(13.3%)、策定時より悪化しているが8(26.7%)、判定出来ないが3(10.0%)でした。

市では、計画策定後、「オケちゃん健康体操」の創作、成人歯科健診(20歳、妊婦、60歳)の開始、自殺対策計画策定と、事業を広げています。最終目標値の達成につながるよう、計画を推進していきます。